

活動成果報告書

平成26年度（第18回）「チヨダ地域保健推進賞」

活動テーマ

保健・教育の連携による思春期ピアカウンセラー活動定着への取り組み
～健やかな未来の親づくりを目指して～

応募グループ名称及び氏名（グループの場合は代表者名）

徳島ピアカウンセラー養成講座検討会

代表者：森脇 智秋

勤務先：徳島文理大学

所 属：助産学専攻科

所在地：〒770-0047

徳島県徳島市名東町1丁目98-4

TEL：088-602-8157

FAX：088-602-8146

E-Mail：moriwaki@tokushima.bunri-u.ac.jp

●高校・大学文化祭でのピア活動



●ブラッシュアップ研修



◇活動方針

県内の保健・教育関係者等の支援体制整備を図り、思春期ピアカウンセラーの活動支援をすることにより、自主的・継続的活動の定着を目指す。

活動成果報告書

◇活動内容とその成果

少子化の進行等により現代の子どもたちは、成長過程で身近に子育てを体験したり、乳幼児とふれあう機会が減少し、子育てに対するイメージや関心を持たず、子どもを産むことを選択や育児不安を持つ母親の増加等に影響していると言われている。加えて徳島県は、乳児死亡率や新生児死亡率が高く推移しているため、未来の社会を担う若者への支援が課題となっている。そこで保健所では、平成20年度より「未来の親づくり事業」として、高校文化祭において「子育て出前講座」を実施し始めた。そして、平成21年度からは、高校での子育て出前講座に加え、より未来の親に近い大学生を対象に事業を実施するために、大学関係者と『未来の親づくり事業検討会』を設置し、若者に向けた子育てや健康づくりに関する効果的な啓発方法について協議し、大学においては「学生の学生によるプレパパ・プレママ体験イベント」として実施することとなった。高校や大学での事業スタッフは、保健所保健師や管理栄養士、歯科衛生士等、思春期の子どもたちの親世代が携わっていたが、4年間の事業の結果、思春期の子どもたちが健やかに成長するために必要な、自己決定能力・自己肯定感を育むためには、思春期ピアカウンセリング活動を取り入れた健康教育が効果的であると言われており、県内でも実施できるよう取り組むこととなった。

そこで、平成25年度に保健所保健師が中心となり、ピアカウンセリング入門セミナーを企画し、ピアサポーターを養成した。そして、県内の高校や大学8校の文化祭でピアカウンセリングを用いた健康教育を実施した結果、若者に対する教育において好評で効果的であった。また、セミナー受講者自身の自己決定能力や自己肯定感が高まり「自己成長に繋がった。」という声が聞かれた。同年度に開催した保健・教育関係者による「徳島ピアカウンセラー養成講座検討会（前：未来の親づくり事業検討会）」においても、ピアサポーターによる健康教育の効果やピアサポーター自身の成長が評価され、今後の継続した活動や養成の必要性を共通認識するとともに、ピア活動を支える体制整備に向けて検討することとなった。「徳島ピアカウンセラー養成講座検討会」では、養成講座認定講師を代表とし、事務局や活動場所、内容、予算等について検討するとともに、関係機関の支援体制等について協議を始めた。

これまでの評価を基に、平成26年度は、県内初のピアカウンセラーを養成しピアカウンセラーによる活動（以下「ピア活動」という）が県内に継続・定着することを目指し、思春期ピアカウンセラー養成講座（日本ピアカウンセリング・ピアエデュケーション研究会認定）を開催し、36名のピアカウンセラーと14名のピアサポーターを養成した。受講生の受講前と受講後の「自尊感情尺度」及び「一般セルフ・エフィカシー」の比較では、9割以上がアップし自己肯定感の高まりが認められた。また、カウンセリングの基本や技術を習得することで、受講初日と4日目では相手との接し方に違いが見られ、県内でのピア活動に意欲的な姿勢が感じられた。

そして、秋からは県内高校と大学等9校の文化祭でピア活動を実践した。参加した学生のアンケートでは「知識を得ることができた」「参加して楽しかった」「内容に関心や興味が持てた」学生が95%あり、大学生等のピアが高校生に対し、楽しく知識の普及啓発ができ、ピアの目的が達成されたと思う。また、ピア活動実践後のブラッシュアップ講座では、活動の共有を図るとともに、今後の活動について話し合った結果、「みんなで集まれる場が欲しい」「もっといろいろな所で活動したい」等、前向きな意見が聴かれた。

そこで、「徳島ピアカウンセラー養成講座検討会」において活動評価を行った結果、関係者からも同様に、「ピア活動が学生に好評で今後も継続して欲しい」「文化祭以外でも活動して欲しい」「いつでも相談できる場所があれば良い」等の声が聴かれた。

活動成果報告書

《平成 26 年度実施内容》

- ・ピアカウンセラー養成講座（4日間） 平成 26 年 8 月 2 日～5 日
- ・高校等文化祭事前オリエンテーション（半日間） 平成 26 年 8 月 21 日
- ・高校，大学祭でのピア活動（8日間）

日時	学校別	参加者	ピア活動者
平成 26 年 9 月 6 日	高校	70	5
平成 26 年 9 月 6 日	高校	60	2
平成 26 年 9 月 7 日	中高校	180	13
平成 26 年 9 月 10 日	高校	60	8
平成 26 年 10 月 9 日	高校	50	4
平成 26 年 10 月 17 日	大学	50	9
平成 26 年 11 月 9 日	大学	50	14
平成 26 年 11 月 29 日	高校	70	9
計	8 校	590	64

- ・徳島ピアカウンセラー養成講座検討会（前：未来の親づくり事業検討会） 平成 26 年 12 月 24 日
検討内容：①事業評価，今後のピアカウンセラー養成について（予算措置等）
②県内でのピア活動の継続・定着に向けた支援体制のあり方
- ・ピアカウンセラーブラッシュアップ講座（半日間） 平成 26 年 12 月 26 日

○成果等

- ・ピアカウンセラーによるピア活動が若者の健康教育において好評で効果的であることが関係者からも聞かれ，文化祭以外の場所での活動を実践する機会が増えた。
- ・また，保健・教育関係者等を対象にピアカウンセラーをコーディネートする人材を育成することとなった。
- ・「徳島ピアカウンセラー養成講座検討会」メンバーの協力を得て，ピアカウンセラーの活動拠点となる場所を検討し，関係機関に働きかける等，定着に向けた取り組みをスタートできた。

◇今後の計画

- ・引き続きピアカウンセラーを養成し，活動できるピアを増やす。
- ・ピアカウンセラーコーディネータの協力を得ながら，様々な機会にピア活動が行えるようにする。
- ・ピア活動の拠点となる場所を確保し，ピア同士が交流，学習できる機会を増やす。
- ・ピアカウンセラーによる定例相談日を設け，中高生対象に相談活動を行う。
- ・「徳島ピアカウンセラー養成講座検討会」を中心に県内のピア活動が継続・定着する体制整備を目指す。